

【特別展/企画展】

2024年8月23日(金)～10月5日(土)

2024年度企画展Ⅱ

「創られたキリシタン像―排耶書・実録・虚構系資料―」

[場所]西南学院大学博物館1階特別展示室・廊下・常設展示室

【テーマ展示/相互貸借特集展示(小規模展示)】

2024年4月26日(金)～8月中旬

2024年度サテライト展示Ⅰ

「博多の伝統工芸とキリスト教」

[場所]南島原市原城図書館(長崎県南島原市)

2024年5月14日(火)～9月23日(月・祝)

2024年度相互貸借特集展示Ⅰ

「非西欧圏における祈りⅡ」

西南学院大学博物館エキスポコレクション

[場所]國學院大學博物館

【イベント】

2024年8月6日(火)

せいなんワークショップ

「テラコッタねんどではにわづくり」

[場所]西南コミュニティセンター2階会議室

※定員20名/事前申込制

【休館】

毎週日曜日 休館

2024年6月27日(木) 臨時休館

2024年8月10日(土)～16日(金) 夏季休暇期間

2024年8月21日(水)～22日(木) 臨時休館

2024年10月15日(火) 臨時休館

行事予定は日程、内容等が変更する場合がございます。
各イベントの詳細につきましては博物館ホームページをご確認ください。

来館者掲示板

来館者の言葉

音声で修道会の「寝る前の祈り」が聞けたのが非常に良かったです。(展示のみだと案内されていたので)祈りの中に「沈黙」のテロップがあってハッとしました。沈黙している時間が必要不可欠だということを忘れていました。この展示のことをつい最近知って慌てて来ました。来てよかったです。(2024年2月)

時々おじゃましています。他にはあまりおみかけすることがない企画展なので、いつも楽しみにしています。(2024年3月)

ナイトミュージアムできました。建物の雰囲気と、グレゴリオ聖歌の世界のマッチが素敵でした。(2024年3月)



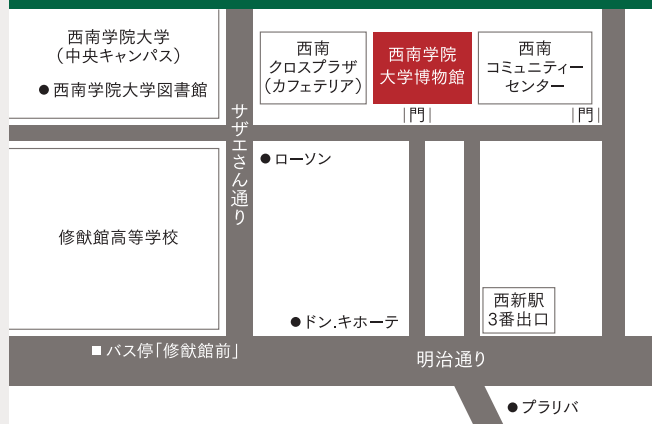
12月20日から4月4日にかけてテーマ展示「楽譜とことば―祈りの歌のカケラたち―」が開催されました。年齢やお住まいを問わず多くの方にご来館いただきました。また、温かい言葉も多く頂戴しております。誠にありがとうございます。

6月26日までは企画展「描かれた朝鮮通信使」を開催しております。天候が不安定になる日も増えてきます。お体にはお気をつけください。スタッフ一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。 学芸調査員 庄崎 詩香

編集後記

2023年10月に、大学博物館の助教・学芸員として着任しました、森と申します。着任早々、企画展や特別展、サテライト展示にワークショップ…と、とても活発な博物館の活動と、博物館学の授業の平行に戸惑いながらも、奔走しています。今号から博物館ニュースのデザイン・レイアウトを一新いたしました。来館者の皆様により明快に、大学博物館の最新情報をお届けできればと思います。 助教・学芸員 森 結

アクセスマップ



福岡空港 → 西新駅下車…約17分
天神 → 西新駅下車…約8分
博多駅 → 西新駅下車…約12分
※地下鉄西新駅([3]番出口)から徒歩3分



博多駅バスセンター → 修猷館前…約35分
天神 → 修猷館前…約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分



福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学…約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学…約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学…約15分
※駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

西南学院大学博物館 SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4786
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

【開館時間のご案内】

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]、
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28～1/5]、
そのほか臨時休館あり

入館料 / 無料



Youtube 西南学院大学博物館 @seinan_museum @seinan_museum

西南学院大学博物館

NEWS

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM



2024年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ

「創られたキリシタン像―排耶書・実録・虚構系資料―」

会期:2024年8月23日(金)～10月5日(土)/会場:西南学院大学博物館1階特別展示室・廊下・常設展示室

協力:平戸市生月町博物館・島の館 南島原市教育委員会



大黒天像/昭和時代か/制作者不詳/木彫/本体:高さ8.5cm、最大幅5.0cm、台座:高さ2.5cm、幅7.0cm



仏像付き十字架/昭和20～25年(1945～50)頃/伝 林擁国/鉄製/縦25.3cm×横19.5cm

CONTENTS

■ 企画展

「創られたキリシタン像―排耶書・実録・虚構系資料―」

■ 新収蔵品紹介

アタナシウス・キルヒャー『地下世界』(1665年)より「太陽図」

■ 常設展展示紹介

リンディスファーン福音書(複製)

■ 大学博物館のお仕事Ⅶ

「ワークショップ企画と運営について」

展覧会の見どころ紹介

皆さんはキリシタンに対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。2018年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され、近年はかくれキリシタンやその遺物に注目が集まっています。

例えば、上の2点の作品はかつて「かくれキリシタン」の遺物とされてきたものです。果たしてこれらは本当に「かくれキリシタン」の遺物といえるのでしょうか? ぜひ、展覧会をご覧になって確かめてみてください。

学芸調査員 馬場 紀聡

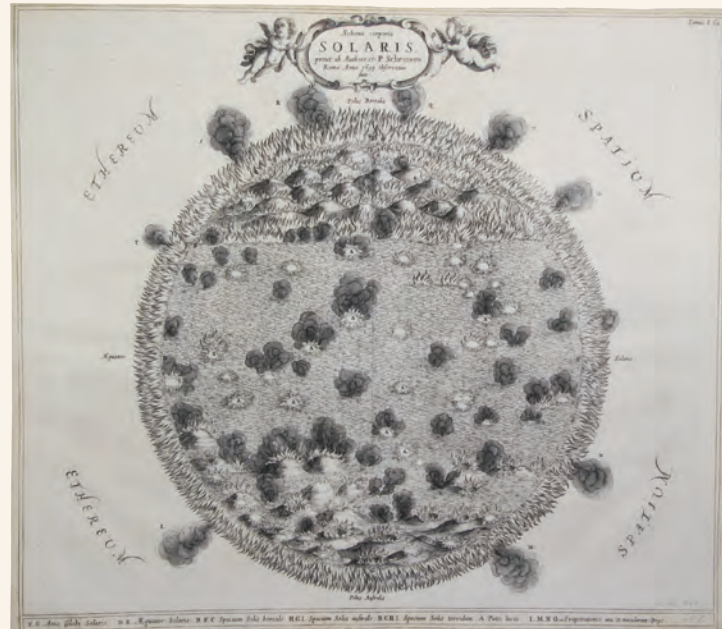
新収蔵品紹介

New

本資料は、ドイツ出身のイエズス会士アタナシウス・キルヒャー(Athanasius Kircher, 1602-1680)による、『地下世界』(Mundus Subterraneus, 1665)に収録された太陽図です。キルヒャーはオリエント研究の顕学であり、且つ自然科学の分野でも多くの功績を残した人物でした。『地下世界』は、豪華な図版を多数掲載した地球科学に類される著作です。

Schema Corporis Solaris(太陽図)という本図のタイトルの下に、キルヒャー同様ドイツのイエズス会士であったクリストフ・シャイナーが、1635年にローマで行った太陽の観測に基づいていることが記されています。シャイナーはヘリオスコープ(太陽鏡)を発明し、太陽を観測しており、黒点をめぐってガリレオと論戦を交わした人物でした。シャイナーが黒点を太陽の衛星と解釈したのに対し、ガリレオは雲のようなものと解釈しました。本図において、黒点は太陽から立ち昇る黒い煙として描かれています。望遠鏡が改良され、天体の観測精度が向上し、天球の体系について盛んに検証が行われた17世紀を背景として、本図は描かれています。

助教・学芸員 森 結



アタナシウス・キルヒャー『地下世界』(1665年)より「太陽図」
Illustration of the Sun from Athanasius Kircher's *Mundus Subterraneus*, 1665.
1665年頃/アムステルダム(オランダ)/銅版画/36.5×41.4cm

大学博物館のお仕事

VII

西南学院大学博物館では教育普及活動として、様々なワークショップを開催しています。

ワークショップを企画するときは、例年行われている季節行事(例えばクリスマスやイースター)、または展覧会に関連するテーマで、いくつか候補を出します。それらの候補から年度ごとに行うワークショップのプログラムを話し合って決定します。「楽しみながら学ぶ」をコンセプトにしているため、大人も子供も楽しめて、かつ難しくなく、安全な内容にしなければなりません。

プログラムが決まったら、それぞれのプログラムの数か月前から、スタッフで分担しつつ準備を行います。例えば、材料の用意やワークシートと広報用のポスターの作成、試作品の制作、当日の流れの練習などの準備があります。当日、スタッフは参加者に怪我や不備が無いよう注意を払ってサポートしていきます。ワークショップ終了後、振り返りを行い、次のワークショップに向けての改善策を話し合います。

私たちは、地域へ学びの場を提供するためにもワークショップを重要なものと考えています。皆さんもぜひ一度参加してみてください。

学芸調査員 村田 早紀



実際のワークショップの様子(2024年3月撮影)

常設展示紹介

本資料は、イングランド北東部にあるリンディスファーン修道院で制作されたとされる福音書写本です。マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネの四つの福音書からなり、「カーペットページ」と呼ばれる装飾で埋め尽くされたページや、4つの福音書の共通する内容を分類した「対観表」「装飾頭文字」「福音書記者の肖像」の4種類の装飾ページをもつ、三大ケルト装飾写本の一つです。

本図は現在常設展示室にて展示中の見開きで、右はカーペットページ、左は装飾頭文字のページです。リンディスファーン福音書は当時珍しく、45色の天然顔料が使用されており、本図のページも赤や青、緑など多くの顔料で色鮮やかに装飾されています。また、装飾に目を転じると猫のような動物が描かれ、多くの鳥が文様に組み込まれて描かれています。展示をご覧の際はぜひ装飾に目を凝らして、組み込まれた動物をさがしてみてください。

学芸調査員 栗田 りな



リンディスファーン福音書(複製)
Lindisfarne Gospels (Facsimile)
イギリス/698年/羊皮紙/大英図書館所蔵本
複製:Faksimile Verlag(スイス・ルツェルン), 2002年,980部刊(S/N108)

i

館外展示情報

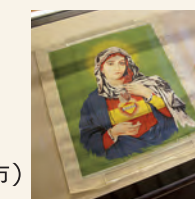
① 2024年度 西南学院大学博物館×南島原市

サテライト展示 |

「博多の伝統工芸とキリスト教」

会期:2024年4月26日(金)~8月中旬

会場:南島原市原城図書館(長崎県南島原市)



② 2024年度 西南学院大学博物館×國學院大學博物館

相互貸借特集展示

「非西欧圏における祈りII」

西南学院大学博物館エキスポコレクション」

会期:2024年5月14日(火)~9月23日(月・祝)

会場:國學院大學博物館(東京都渋谷区)

📧

博物館通信

当館は大学博物館として、本学の先生方の研究成果や個人コレクションを公開する「研究室訪問シリーズ」を企画しています。4月からはシリーズ第5弾となる企画展「描かれた朝鮮通信使」を開催中です。他にも、ワークショップ「聖書植物でしおりづくり」「くずし字でキーホルダーをつくろう!」や公開講演会などのイベントを実施し、多くの方にご参加いただきました。

今後もスタッフ一同、皆様のご来館を心よりお待ち申し上げます。

学芸調査員 前田 桃花